ヨド物置 エルモ シャッター

単棟・連棟型〈土間タイプ〉 組立説明書 LOD(S)-2918HD型・2922HD型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は2922HD×2連棟の図を基準にしていますが、単棟・3連棟以上の場合、または機種が2918の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。（組立は専門業者にご依頼ください。）

●設置場所の制限

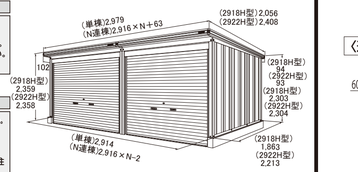
⚠注意

1.建物の屋上には設置しないでください。
2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

⚠注意

1.ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
2.部材は、全て調製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
3.重い部材、梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。



（寸法の単位はmm）

鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

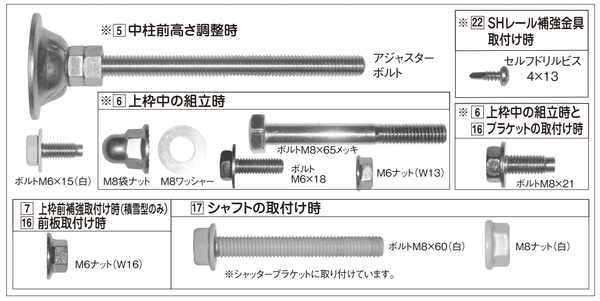
●施工時の注意点

1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

●組立に必要なもの（事前にご準備ください。）

・軍手・水準器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキー・ペンチ等工具・サゲフリ
サンダー等切断工具・アンカーボルトW1/2×210ℓ、ナット×2、ワッシャー（オプションの設定もございます。）

●使用ビス一覧（各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15（白）を使用します。※が付くものは連棟型のみ使用します。）



梱包組合せ表

機種			2918型 単棟用	2918型 追加棟用	2922型 単棟用	2922型 追加棟用
部品			LO5-0168	LO5-6158	LO5-0207	LO5-6158
枠	上枠前後	一般	LO5-0207	LO5-0207	LO5-0207	LO5-0207
		積雪	LO5-0227	LO5-0227	LO5-0227	LO5-0227
	下枠前後		LO5-0277	LO5-0277	LO5-0277	LO5-0277
	上枠左右	一般	LM5-0304	LM5-1604	LM5-0305	LM5-1605
	上枠中間	積雪		LM5-1634		LM5-1635
	下枠左右		LO5-0374	-	LO5-0375	-
柱			LO5-0433	LO5-6433	LO5-0433	LO5-6433
間柱			LM5-1456	-	LM5-1458	-
鼻隠し			LM5-1107	LM5-1107	LM5-1107	LM5-1107
補強	一般型		LO5-0551	LO5-0551	LO5-0551	LO5-0551
	積雪型		LO5-4551	LO5-4551	LO5-4551	LO5-4551
			LO5-4552	LO5-4552	LO5-4552	LO5-4552

機種		2918型 単棟用	2918型 追加棟用	2922型 単棟用	2922型 追加棟用
屋根		LM5-0931	LM5-0931	LM5-0941	LM5-0941
		LM5-0931	LM5-0931	LM5-0941	LM5-0941
壁		LM5-1014	LM5-1014	LM5-1013	LM5-1014
		LM5-1014	-	LM5-1013	-
		LM5-1032	-	LM5-1014	-
シャッター		LO5-1763	LO5-1763	LO5-1763	LO5-1763
		LO5-1764	LO5-1764	LO5-1764	LO5-1764
棚板		LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	一般型	17	13	17	13
	積雪型	18	14	18	14

梱包内容表

●部品
LO5-0168　2918・2922

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	227(111)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
LO0下枠接続金具DM前左	1
LO0下枠接続金具DM前右	1
LO0下枠接続金具DM後	2
LO0SHレール補強金具DM右	1
LO0SHレール補強金具DM左	1
LO0下枠間隠しDM異左	1
LO0下枠間隠しDM異右	1
ELD屋根隠間隠しA	3
ELD屋根隠間隠しB	1
EL形前連結金具	1
コーキング剤	1
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書5年	1

※（ ）内は予備

LO5-6158　2918・2922

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	192(14)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
セルフドリルビスM4x13	5(1)
LO0下枠接続金具DM後中	1
アジャスターボルトM8X100	1
山座M8×30×1.6	1
ELD もや取付金具	4
LO0SHレール補強金具DM右	1
LO0SHレール補強金具DM左	1
LO0下枠間隠しDM中左	1
LO0下枠間隠しDM中右	1
ELD屋根隠間隠しA	3
ELD屋根隠間隠しB	1
EL形前連結金具	1
ELD鼻隠し前接続金具	1
ELD鼻隠し後接続金具	1
ELD鼻隠し前連結化粧	1

※（ ）内は予備

●上枠前後
LO5-0207　2918・2922

部材名	数量
LO0上枠前A4.0	1
LO0上枠後A4.0	1

LO5-0227　2918・2922

部材名	数量
LO0上枠前A4.0	1
LO0上枠後A4.0	1
LO0上枠前補強A4.0GS	1

●下枠前後
LO5-0277　2918・2922

部材名	数量
LO0下枠後DM A4.0	1
LO0水切り後DM A4.0	1

●上枠左右
LM5-0304　2918

部材名	数量
ELD上枠左A2.5	1
ELD上枠右A2.5	1

LM5-0305　2922

部材名	数量
ELD上枠左A3.0	1
ELD上枠右A3.0	1

●上枠中間
LM5-1604　2918

部材名	数量
ELD上枠中 右A2.5	1
ELD上枠中 左A2.5	1
ELD屋根連結材A2.5	1
ELD上枠中受け金具前右	1
ELD上枠中受け金具前左	1
ELD上枠中受け金具後右	1
ELD上枠中受け金具後左	1
ELD上枠中受け金具前右	1
ELD上枠中受け金具前左	1
ELD上枠中受け金具後右	1
ELD上枠中受け金具後左	1
ボルトM8×65	7
袋ナットM8-17用	10
平ワッシャーM8.5×18×1.6	7
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※（ ）内は予備

LM5-1605　2922

部材名	数量
ELD上枠中 右A3.0	1
ELD上枠中 左A3.0	1
ELD屋根連結材A3.0	1
ELD上枠中受け金具前右	1
ELD上枠中受け金具前左	1
ELD上枠中受け金具後右	1
ELD上枠中受け金具後左	1
ボルトM8×65	7
袋ナットM8-17用	10
平ワッシャーM8.5×18×1.6	7
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※（ ）内は予備

LM5-1634　2918

部材名	数量
ELD上枠中 右A2.5S	1
ELD上枠中 左A2.5S	1
ELD屋根連結材A2.5	1
ELD上枠中受け金具S右	1
ELD上枠中受け金具S左	1
ELD上枠中受け金具後S右	1
ELD上枠中受け金具後S左	1
ボルトM8×65	9
袋ナットM8-17用	12
平ワッシャーM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※（ ）内は予備

LM5-1635　2922

部材名	数量
ELD上枠中 右A3.0S	1
ELD上枠中 左A3.0S	1
ELD屋根連結材A3.0	1
ELD上枠中受け金具S右	1
ELD上枠中受け金具S左	1
ELD上枠中受け金具後S右	1
ELD上枠中受け金具後S左	1
ボルトM8×65	9
袋ナットM8-17用	12
平ワッシャーM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※（ ）内は予備

●下枠左右
LO5-0374　2918

部材名	数量
LO0下枠側DM A2.5	1
LO0下枠側DM右A2.5	1
LO0水切り後DM左A2.5	1
LO0水切り後DM右A2.5	1

LO5-0375　2922

部材名	数量
LO0下枠側DM A3.0	2
LO0水切り後DM左A3.0	1
LO0水切り後DM右A3.0	1

●柱
LO5-0433　2918・2922

部材名	数量
LO0柱前DM 左	1
LO0柱前DM 右	1
ELD 柱後H	2
ELD 間柱後H	3
LO0柱前補強カバーDM 左	1
LO0柱前補強カバーDM 右	1

LO5-6433　2918・2922

部材名	数量
LO0中柱前DM	1
LO0中柱後DM	1
ELD 間柱後H	3
LO0中柱前補強カバーDM左	1
LO0中柱前補強カバーDM右	1

●間柱
LM5-1456　2918

部材名	数量
ELD 間柱 前右2.5H	2
ELD 間柱 前後2.5H	2

LM5-1458　2922

部材名	数量
ELD 間柱 前前3.0H	2
ELD 間柱 前後3.0H	2

●鼻隠し
LM5-1107　2918・2922

部材名	数量
ELD 鼻隠し前A4.0	1
ELD 鼻隠し後A4.0	1

●補強
LO5-0551　2918・2922

部材名	数量
ELD もや D-A4.0S	1
ELD もや D-A4.0SW	1

LO5-4551　2918・2922

部材名	数量
ELD もや D-A4.0S	1
ELD もや D-A4.0SW DLS	1

LO5-4552　2918・2922

部材名	数量
ELD もや D-A4.0S	1
ELD もや D-A4.0SW	1

●屋根
LM5-0931　2918

部材名	数量
ELD 屋根(70) A2.5	2

LM5-0941　2922

部材名	数量
ELD 屋根(70) A3.0	2

●壁
LM5-1013　2922

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	3

LM5-1014　2918・2922

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	4

LM5-1032　2918

部材名	数量
ELD 壁パネル H-F	2

●シャッター
LO5-1763　2918・2922

部材名	数量
シャッターシャフトA4.0（土間）（有圧3種、スラット9枚付）	1
LO0シャッターレールDM 左	1
LO0シャッターレールDM 右	1
シャッタープラケット 左	1
シャッタープラケット 右	1
フック棒 L＝600mm	1
LO0 前板 A4.0	1

LO5-1764　2918・2922

部材名	数量
外観付スラット A4.0（土間）（スラット17枚、外観付スラット1枚）	1
水切り付スラット A4.0（土間）（スラット9枚、手掛け付スラット1枚）	1

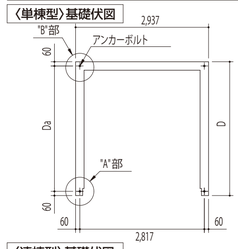
○部材名称にはA2.5、A3.0、A4.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

1 基礎施工例（参考図）

参考図は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。

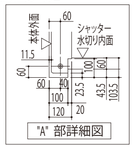
⚠注意　強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

〈単棟型〉基礎伏図

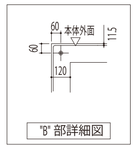


（参考図の設計条件）
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種	D	Da	Db
LOD(S)-2918H	1,897.5	1,777.5	1,653
LOD(S)-2922H	2,248	2,128	2,003.5

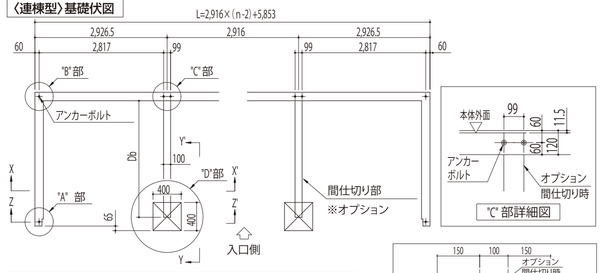


"A" 部詳細図

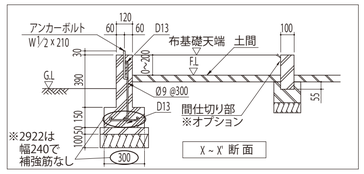


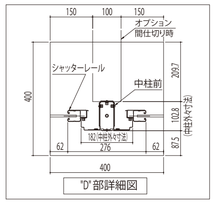
"B" 部詳細図

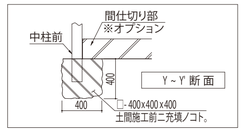
〈連棟型〉基礎伏図

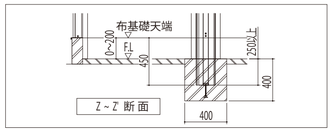


"C" 部詳細図





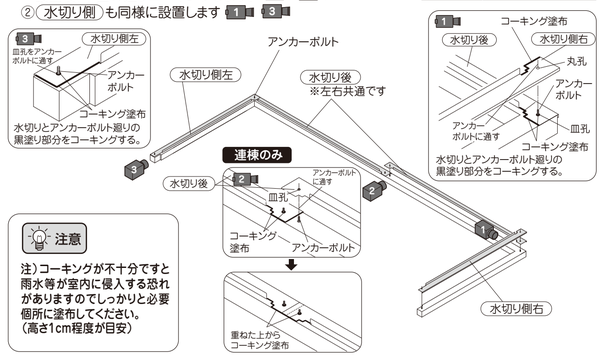




2 水切りの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0168	
	LO5-0277	
	LO5-0374	LO5-0375
使用ボルト数	0本	

① 水切り後 の両端の孔をアンカーボルトに通して基礎の上に設置します。設置後、下図の通りコーキングします。 1 2
② 水切り側 も同様に設置します 1 3



注 注）コーキングが不十分ですと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。（高さ1cm程度が目安）

3 接続金具の取付け（その1）

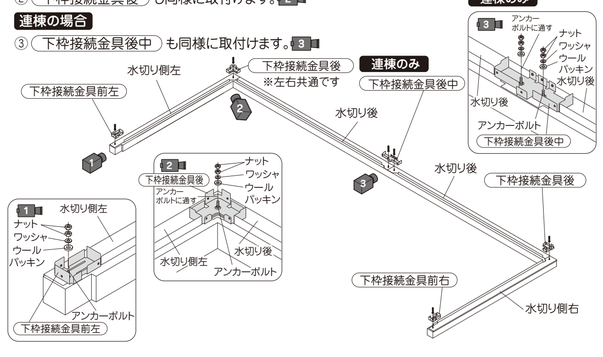
	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0168	
	※LO5-6158	
使用ボルト数	0本	

① 下枠接続金具前（左右） の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャー・ウールパッキン・ナット×2で固定します。 1
② 下枠接続金具後 も同様に取付けます。 2

連棟の場合

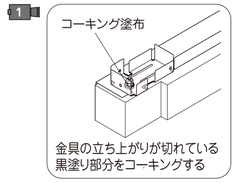
③ 下枠接続金具後中 も同様に取付けます。 3

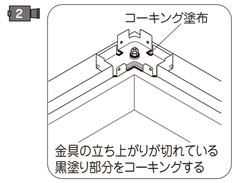
※は連棟のみ

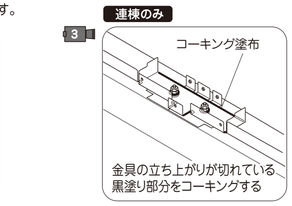


3 接続金具の取付け（その2）

④金具を固定後、下図の通りコーキングします。







注意　コーキングが不十分ですと、雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。（高さ1cm程度が目安）

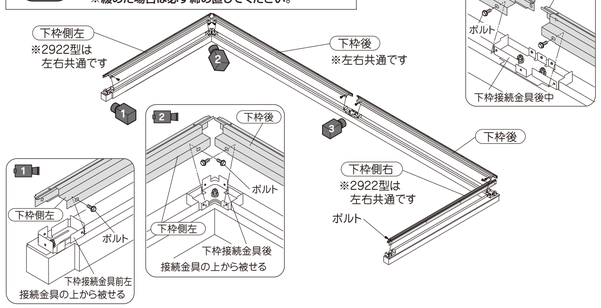
注意　市販のアンカーボルトでウールパッキンがついていない場合はアンカーボルト周辺にコーキングを行ってください。

4 下枠の組立

① 下枠側 ・ 下枠後 を接続金具の上から被せて固定します。 1 2 3

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-0277	
		LO5-0374	LO5-0375
使用ボルト数	単棟	6本	
	連棟	8本	

ワンポイント　ボルト孔位置が合いにくい場合はアンカーボルトを緩めて合わせてください。
※緩めた場合は必ず締め直してください。



5 柱の組立

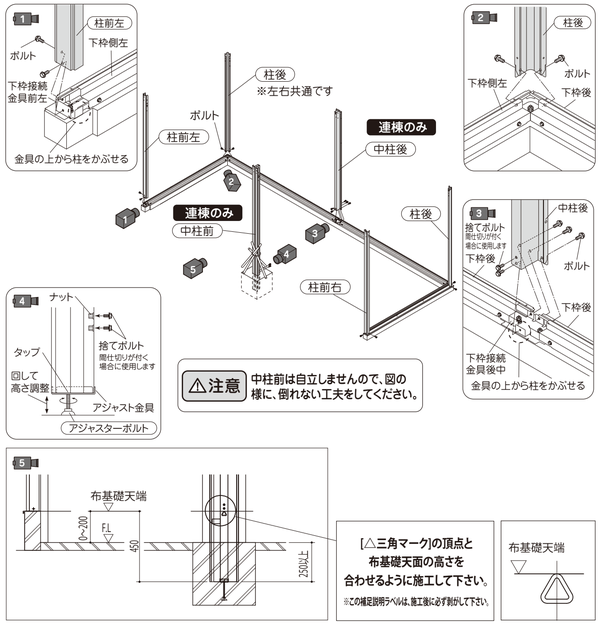
ワンポイント　間仕切り（オプション）を取り付ける場合は「オプション間仕切りセット」の組立説明書を併せてお読みください。

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0433	
	※LO5-6158	
	※LO5-6433	
使用ボルト数	単棟	8本
	連棟	15本

① 柱前左右 ・ 柱後 を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。 1 2 ※は連棟のみ

連棟の場合

② 中柱後 を同様にボルト止めします。 3
③ 中柱前 の下部に付いている金具のタップに アジャスターボルト を取り付けます。
併せて少し上側のナット2か所にボルト止めします。 4
④中柱前を柱前の高さと揃えて建てます。補足説明ラベルの通り、中柱前下部の△の頂点と布基礎天面の高さを合わせてください。微調整はアジャスターボルトを回して行います。
施工後はラベルをはがしてください。 5

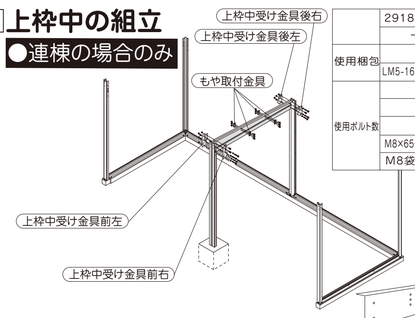


⚠注意　中柱前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

[△三角マーク]の頂点と布基礎天面の高さを合わせるように施工して下さい。
※この補足説明ラベルは、施工後に必ず剥がして下さい。

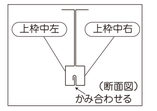
6 上枠中の組立

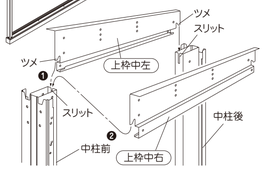
●連棟の場合のみ



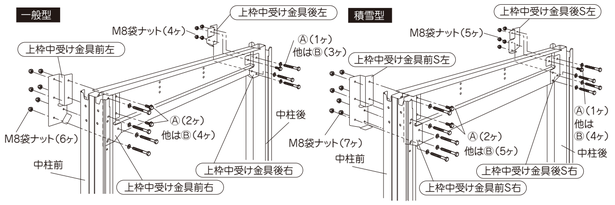
		2918型	2922型	2918型	2922型
使用梱包		一般型		積雪型	
		LO5-6158			
使用ボルト数		LM5-1604	LM5-1605	LM5-1634	LM5-1635
		M6×18　6本			
		M6ナット　6ケ			
		M8×21　3本			
		M8×65+ワッシャー 7本		M8×65+ワッシャー 9本	
		M8袋ナット 10ケ		M8袋ナット 12ケ	

①中柱前と中柱後の室内側のスリットに、上枠中左、中右 のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。



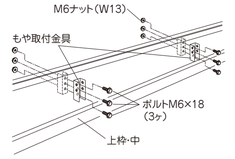


②上枠中と中柱前を、上枠中受け金具前右（左） ではさんで、ボルト（M8×65）・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と積雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。



③上枠中の3つ孔に、両側から もや取付金具 をボルト（M6×18）とM6ナット（W13）で取付けます。

Ⓐ:ボルトM8×21（ワッシャー付）
Ⓑ:ボルトM8×65 とM8ワッシャー



ワンポイント　上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に下で行ってからでも施工出来ます。

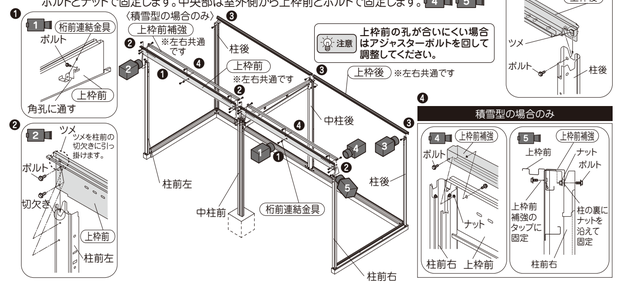
7 上枠前後の取付け

注意　一般地型の場合は、上枠前補強は取付けません。下記工程の④は不要です。この工程で付け忘れると大がかりな解体が必要です。

	2918型	2922型	2918型	2922型
使用梱包	一般型		積雪型	
	LO5-0168・※LO5-6158			
	LO5-0207		LO5-0227	
使用ボルト数	14本		24本+M6ナット4ケ	

※は連棟のみ

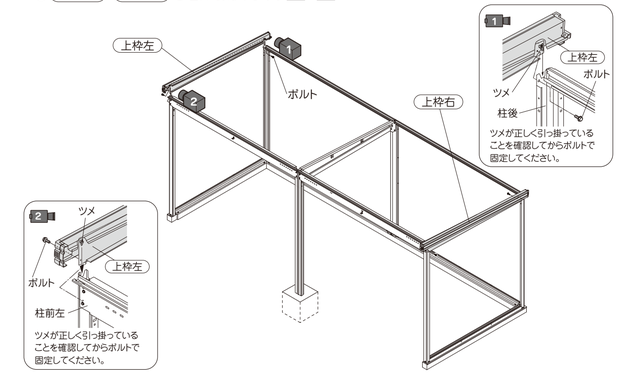
① 上枠前 の中央部に 桁前連結金具 をボルト止めします。 1
② 上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。 2
③ 上枠後 のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。 3
④ 積雪型の場合のみ、 上枠前補強 を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。 4 5



8 上枠左右の取付け

① 上枠左 ・ 上枠右 を柱に取付けます。 1 2

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0304	LM5-0305
使用ボルト数	4本	

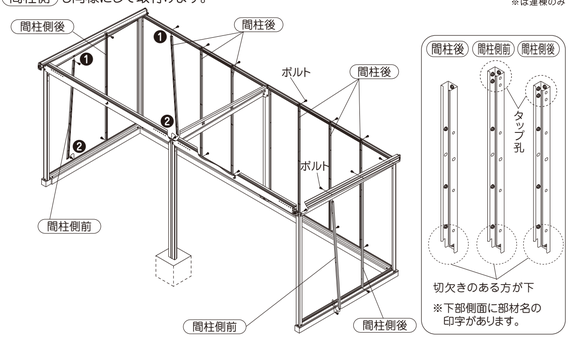


9 間柱側・後の取付け

		2918型	2922型
使用梱包		LM5-1456	LM5-1458
		LO5-0433	
		※LO5-6433	
使用ボルト数	単棟	14本	
	連棟	20本	

※は連棟のみ

① 間柱後 の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
② 間柱側 も同様にして取付けます。



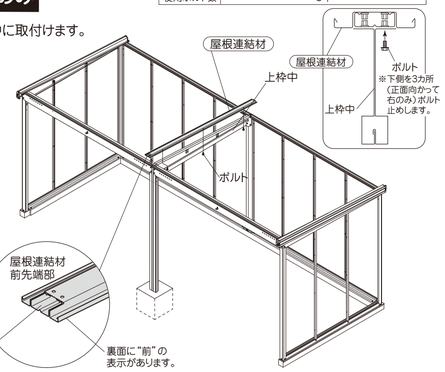
10 屋根連結材の取付け
●連棟の場合のみ

	2918型	2922型	2918型	2922型
	一般型		積雪型	
使用梱包	LM5-1604	LM5-1605	LM5-1634	LM5-1635
使用ボルト数	3本			

① 屋根連結材 を上枠中に取付けます。

注意
電動工具が使いにくい場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。

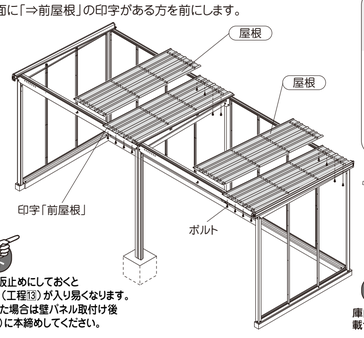
注意
屋根連結材には前後がありますので注意してください。



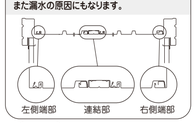
11 屋根の取付け

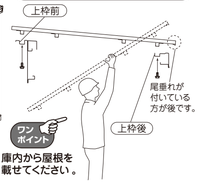
	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0931	LM5-0941
使用ボルト数 単棟	32本	
使用ボルト数 連棟	64本	

① 屋根 を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。
※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。



⚠ 注意
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。
また漏水の原因にもなります。





ワンポイント
ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程⑬)が入り易くなります。
仮止めした場合は壁パネル取付け後(工程⑬)に本締めしてください。

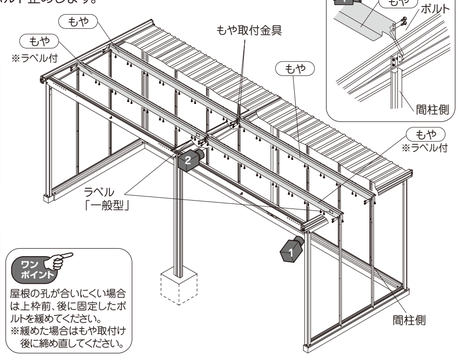
ワンポイント
庫内から屋根を載せてください。

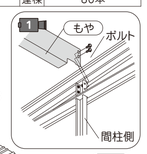
12-A もやの取付け ●一般型の場合

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-0551	
使用ボルト数	単棟	40本	
	連棟	80本	

① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。1 2
② もや と屋根をボルト止めします。

注意
もや は4本共同じ形状です。一番前には「一般型」のラベルが貼りつけてある もや を取り付けてください。



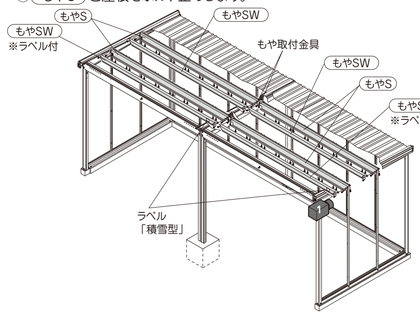


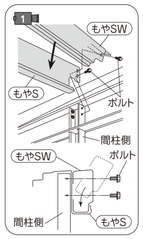
ワンポイント
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

12-B もやの取付け ●積雪型の場合

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-4551	
		LO5-4552	
使用ボルト数	単棟	40本	
	連棟	80本	

① もやS を正面から間柱側、もや取付金具に載せて下側の孔をボルト止めします。1
②正面から もやSW を もやS に落としこみボルト止めします。1
③ もやS と屋根をボルト止めします。





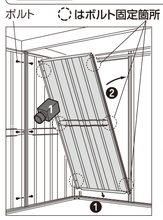
注意
もやSW は4本共同じ形状です。一番前には「積雪型」のラベルが貼りつけてある もやSW を取り付けてください。

13 壁パネルの取付け

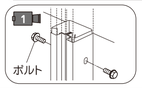
		2918型	2922型
使用梱包		LM5-1014	LM5-1013
		LM5-1032	LM5-1014
使用ボルト数	単棟	54本	
	連棟	78本	

①室内から 壁パネル をはめ込みます。
(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。1
※柱前左右とはボルト止めしません(工程⑳で固定します)。

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

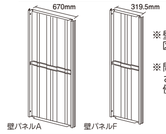


ワンポイント
ボルト固定乳が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。



注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの種類



※壁パネルに上下の区別はありません。
※間仕切り部には高さの低いパネルを使用します。

壁パネルの取付位置

単体の場合でも配置は同じです。

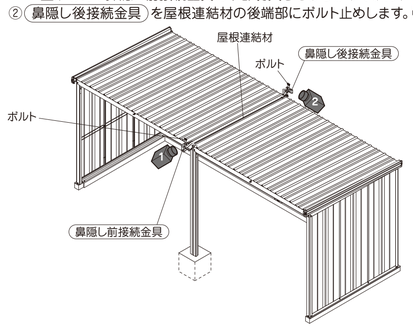
◎部分のパネルが入りにくい場合は、パネルの上部をもやの切欠き部に通けて下を先にはめ込んでください。

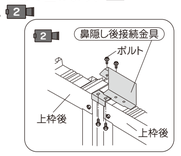
14 鼻隠し接続金具の取付け
●連棟の場合のみ

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-6158	
使用ボルト数	6本	

① 鼻隠し前接続金具 を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて 鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。1
② 鼻隠し後接続金具 を屋根連結材の後端部にボルト止めします。2



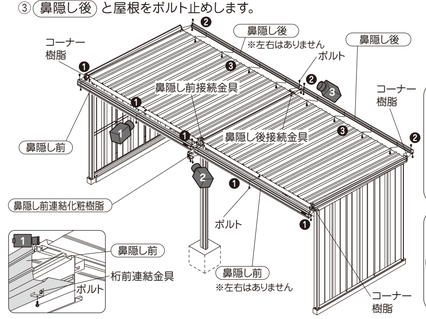


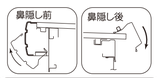
15 鼻隠しの取付け

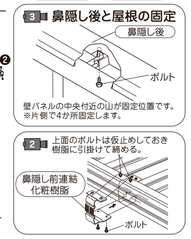
		2918型	2922型
使用梱包		※LO5-6158	
		LM5-1107	
使用ボルト数	単棟	14本	
	連棟	26本	

※は連棟のみ

① 鼻隠し前 をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。中央部分は桁前連結金具とボルト止めします。
連結部分は 鼻隠し前連結化粧樹脂 を上からかぶせてボルト止めします。1 2
② 鼻隠し後 をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。3
③ 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。





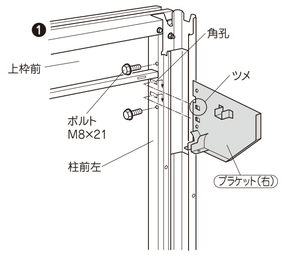


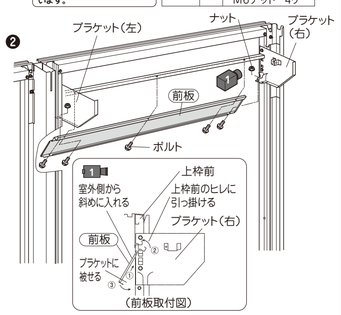
16 ブラケット・前板の取付け

①ブラケット左右 のツメを柱前左右、中柱前の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。
② 前板 を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。1

注意
シャッター部材の Ⓐ・Ⓑ の表示は室内から見た位置を示しています。

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-1763	
使用ボルト数	単棟	M8×21	4本
		M6×15	5本
		M6ナット	2ケ
	連棟	M8×21	8本
		M6×15	10本
		M6ナット	4ケ



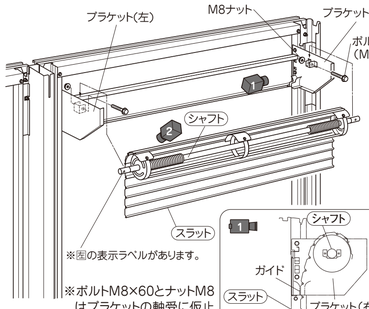


17 シャフトの取付け

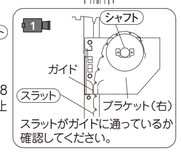
①室内側から シャフト を軸受に載せ、スラット をブラケットのガイドに通します。
(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-1763	
使用ボルト数	単棟	M8×60	2本
		M8ナット	2ケ
	連棟	M8×60	4本
		M8ナット	4ケ

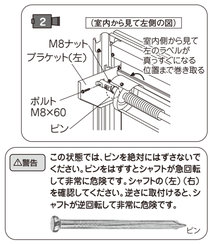
②シャフトの左側のラベル(左と表示)が室内側に真っ直ぐになる位置までスラットを巻き取り、巻き取った状態で軸にボルトM8×60を貫通させ、ナットM8で固定します。



※ボルトM8×60とナットM8はブラケットの軸受に仮止めしてあります。



スラットがガイドに通っているか確認してください。

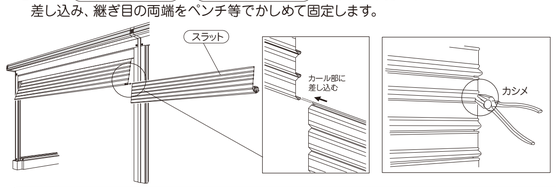


⚠警告 この状態では、ピンを絶対にはずさないでください。ピンをはずすとシャフトが急回転して非常に危険です。シャフトの(左)(右)を確認してください。逆さに取付けると、シャフトが逆回転して非常に危険です。

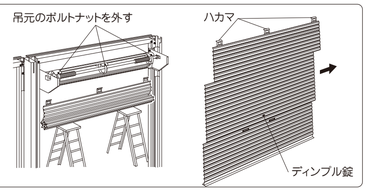
18 シャッタースラットの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-1764	
使用ボルト数	0本	

①上から 外錠付スラット → 水切り付スラット の順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をペンチ等でかしめて固定します。



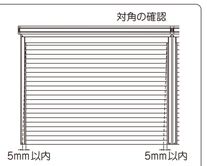
注意
スラットは、3分割されておりシャフトを取り付けた後、左(又は右)から順次差し込んで行くようになっています。差し込むスペースがない場合は、ハカマを取付けているボルトをはずし、スラットを一体にしてからシャフトに取付け直してください。



②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

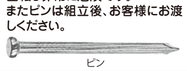
注意
柱の傾きが5mmを越えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行ってください。尚、レール間ピッチも上下とも5mm以内で施工してください。

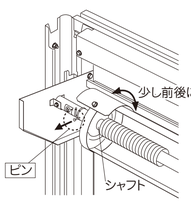
柱が広すぎると鍵がかからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールから抜ける場合があります。



③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。

⚠警告
スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転し非常に危険です。
またピンは組立後、お客様にお渡しください。



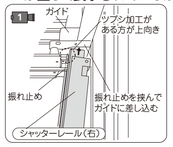


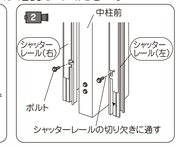
19 シャッターレールの取付け

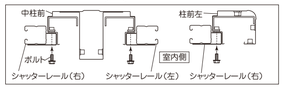
		2918型	2922型
使用梱包		LO5-1763	
使用ボルト数	単棟	10本	
	連棟	20本	

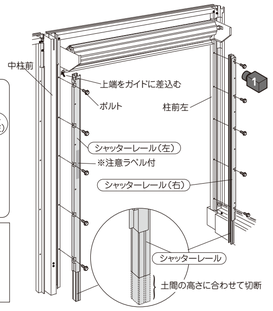
①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
② シャッターレール の下端を土間の高さに合わせて切断します。
③シャッターレール の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。1
※シャッターレール左に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。

注意 シャッターレールには上下左右がありますので、間違えないようにしてください。







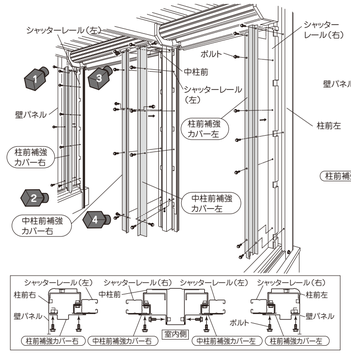


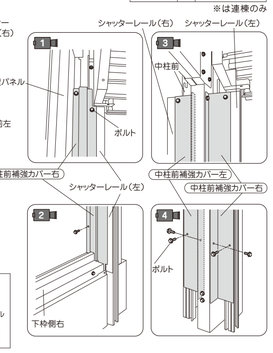
20 柱前補強カバーの取付け

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-0433	
		※LO5-6433	
使用ボルト数	単棟	12本	
	連棟	32本	

※は連棟のみ

① 柱前補強カバー左右 を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。1 2
② 連棟のみ 中柱前補強カバー左右 を中柱前に下図のようにかぶせてボルト止めします。3 4



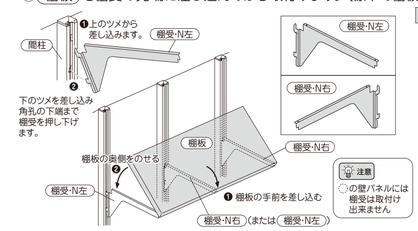


21 棚板の取付け

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

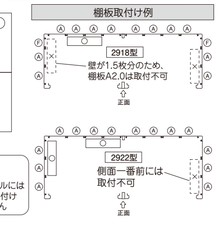
	2918型	2922型
使用梱包	LM5-1903	
使用ボルト数	0本	

① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



注意
の壁パネルには棚受は取付け出来ません

棚板取付け例



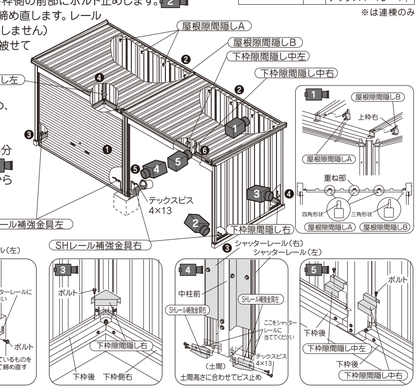
22 その他部品の取付け

		2918型	2922型
使用梱包		LO5-0168	
		※LO5-6158	
使用ボルト数	単棟	2本	
	連棟	2本	
		テックス4×13	4本

※は連棟のみ

①シャッターレール(左)の注意ラベルに〝機種名〟を記入します。
② 屋根隙間隠しA を上枠後の屋根の重ね部に、屋根隙間隠しB を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1
③ SHレール補強金具左右 を下枠側の前部にボルト止めします。2
(下枠側のボルトを一旦外して締め直します。レールに当てる部分の丸孔2個は使用しません)
④ 下枠隙間隠し左右 を上から被せてボルト止めします。3

連棟の場合
⑤中柱前の基礎をモルタルで埋め、SHレール補強金具右 を土間高さに合わせてテックスビスとめします。(レールに当てる部分の長孔1個は使用しません)4
⑥ 下枠隙間隠し中 左右 を上から被せてボルト止めします。5



⚠注意
この組立説明書は、ヨドコウ純正品のみ使用できるようにしたものであります。
※物置エルモシャッター LOD型 機種名
ヨドコウ

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(LOD(S)-2918HD-2922HD)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2016年A制作)